

□ H B M S 施 設



講義室

プロジェクター、大型スクリーン、全壁面にホワイトボードを設置。



MBA図書室

ビジネス関連書籍が多彩に揃う、静かで落ち着いたアカデミック空間。



HBMS専用学生サロン

仲間とのディスカッションや自習など自由に活用できるスペース。



大学院生研究室

パソコンを使って個人作業に取り組める環境を整えています。

□ 学 内 施 設



学術情報センター・図書館

蔵書数30万冊を誇る、県内でも屈指の図書館。ラーニング commons も完備。



本所(広島キャンパス)

Small and Medium-sized Organizations(通称SMO)の企業や団体に特化した研究所。令和7年10月に備後分室を開設。



備後分室



□ 叡 啓 大 学

HBMSの一部の授業を叡啓大学で開講。

ACCESS



□ JR 広 島 駅 から

バスで

「302号線(都市循環線まちのわープ右回り)」にて
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車…徒歩すぐ
「312号線(広島みなと新線)」にて
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車…徒歩3分
「342号線(県病院前行き)」にて
「県病院前」下車…徒歩2分

市内電車で | 「広島港」行き(5号線)にて「県病院前」下車…徒歩7分

□ バスセンター(紙屋町)から

市内電車で | 「広島港」行きまたは「宇品二丁目」行き
(1号線または3号線にて)「県病院前」下車…徒歩7分

□ 八 丁 堀 から

バスで

広電バス「12号線(仁保沖町)」にて
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車…徒歩1分

□ 広 島 港 (宇品) から

市内電車で | 「広島駅」行き(1号線または5号線)または
「広電西広島(己斐)」行き(3号線)にて「県病院前」下車…徒歩7分

お問い合わせ先

広島県公立大学法人 県立広島大学 HBMSマネジメント課
☎ 082-251-9726 ✉ mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

<http://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/>

HBMS MBA 検索



教育訓練給付金指定講座



HIROSHIMA BUSINESS AND MANAGEMENT SCHOOL

県立広島大学大学院 経営管理研究科

中国エリア唯一の **MBA** が取得できる
経営専門職大学院
2027



広がる。 そして、変わる。

HBMSでは、基礎となるビジネスマネジメント力をしっかり身につけたうえで、現代社会に求められる先端的マネジメント力を培うことによって、MBAホルダーにふさわしい高度な専門性と卓越した実践力を発揮できる次世代リーダーを育てます。少人数のきめ細かな指導、多彩な仲間たちとの濃密な学びあいの2年間は、視野やネットワークそして可能性を飛躍的に広げます。その先には、想像を超えた自らの変化とともに、変化した自分が起こす組織、地域、世界の変化があります。

修了認定・学位授与の方針 Diploma Policy

本研究科は、マネジメントのための知識や技能となる専門的能力を学修し、社会の大きな変化を捉えた課題解決能力を育成することで、個人、組織、地域、コミュニティの経済的価値と社会的価値の向上を同時に実現できる次世代型組織を経営する人材の輩出を目指します。

本研究科の教育課程において所定の修了要件を満たすなかで、上記の能力を涵養した学生に経営修士（専門職）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針 Curriculum Policy

本研究科は、修了認定・学位授与の方針に掲げる学修成果を達成するため、入門科目、基礎科目、発展科目、実践科目を編成します。各プログラムに必要な科目を段階的・体系的に配置し、講義・演習などの授業形態より、各科目の目標到達を目指します。

・入門科目

当該科目に配置される授業科目は、経営系各分野の人材養成の基本となる授業科目です。「教養科目群」及び「マネジメント科目群」によって構成されています。「教養科目群」は経営系各分野の科目にとって必要な社会科学的学問体系を学ぶものであり、「マネジメント科目群」は、基礎科目を学修するにあたってのベーシックな基礎知識を身に着けたり、確認するための科目群です。

・基礎科目

当該科目に配置される授業科目は、経営系各分野の人材養成の基本となる授業科目です。基礎科目は「中核科目群」と「関連科目群」によって構成されています。「中核科目群」は「経営戦略」「マーケティング」「アカウンティング」「人材/組織」「ファイナンス」の5つの経営系中核科目であり、「関連科目群」はリーダーシップを伴った経営を実践するために必要な思考を涵養するための科目群です。

・発展科目

当該科目に配置される授業科目は、基礎科目を多様に活かしながら営利組織だけでなく非営利組織が、地域、コミュニティとともに総体としての価値を持続的に高めていくマネジメント能力を養成します。発展科目は大きく3つの領域によって構成されています。「戦略科目群」は、基礎科目をより実践的に活用できるような発展科目であり、専門的領域を学修することを目的としています。「SMO科目群」は、基礎科目を本研究科が独自領域としているSMO(Small and Medium-sized Organizations)分野に発展させたものであり、中小・中堅規模組織のかかえる課題解決を実現するための能力を身に着ける科目群です。「地域資源科目群」は、地域資源の価値向上を目指すために基礎科目を分野別に発展させた科目群であり、「自然資源系」「社会資源系」「文化資源系」のマネジメント力を養うための科目が設置されています。

・実践科目

当該科目に配置される授業科目は、ビジネスを具現化する力や、やり抜く力など、事業創造ができる能力を高めていきます。

学修成果の評価については、能動的な学修を促す手法を積極的に導入し、適正な学修時間を確保した上で、研究科案内・シラバスに配点割合をあらかじめ示した多面的な評価基準により厳正に行います。

具体的には、「知識」、「分析力」、「思考力」、「事業創造力」、「実践力」について、判断する基準を各科目において設けた上で、開講中や期末に行うレポート・筆記試験等のほか、授業への能動的な参加度や貢献度を観察したり学生相互に評価させたりするなどの方法を用い、総合的に評価します。

入学者受入れの方針 Admission Policy

本研究科は、創造的で活力のある経済社会を持続・発展させるために不可欠な、組織の経営改革や新たな事業創造を絶え間なく実践していくビジネスリーダーを目指す学生を求めています。

ビジネスリーダーを目指すにふさわしいチームリーダーを一定期間以上務めるなど、実務経験と社会経験（学生時代の活動も一部含まれる）を持つことを前提としています。

次のような意思を持った社会人等の入学を想定しています。

》 マネジメントの知識と実践力を高め、新たなビジネスを創造したい人

》 イノベーションを起こし、広島から世界に発信したい人

》 地域創生に向けて自ら企画し、リーダーシップを発揮したい人

》 広く人脈を築くために、コミュニケーション能力を向上させたい人

》 人生の可能性を広げるために、高い意欲を持ってマネジメントを学びたい人

以上のような学生を選抜するために、「オープン入試」、「企業・自治体派遣」の各入学選抜試験において、選抜課題では、読解力、思考力、日本語力、論理力・表現力、着眼力・発想力・課題設定力と積極性を、口述試験では理解力・判断力、日本語力、論理力・表現力、着眼力・発想力・課題設定力と積極性を測ります。

HBMSの目指す人材育成像

今、世界では人材に対するニーズは大きく変化しようとしています。AI（人工知能）による知的労働の代替、時代の変化に対応するためのリスキリングが日常的によく使われるようになりましたが、その本質は、これまでのジェネラリストを重視する雇用の時代が終わり、「プロフェッショナル」の時代になったということです。

プロフェッショナルという表現は「専門職」と混同して使われていることが多いのですが、本来は、専門職は「スペシャリスト」という意味であり、プロフェッショナルとは明確な違いがあります。プロフェッショナルとは、「学問的体系に基づいた高度スキルを活用して顧客、取引先、パートナー、社会全体の課題解決をし、その対価として報酬を得る」ものを指します。

HBMSでは、このプロフェッショナルに対する社会的ニーズの高まりを受けて、分野や職業を超えた、多様かつ高度スキルを持った人材を大学院レベルで育成することを目指しています。単に座学的「学問」では達成できない、いわば、頭だけでなく体も使って覚える「身体知」というべき訓練を行い、プロフェッショナルを養成していきます。



HBMS ロゴについて



3つの要素をシンボルマークのモチーフとして構成しています。1つ目の要素、広島の頭文字「H・i」をベースに、2つ目に広島のイメージを代表する厳島神社の「大鳥居」に重ね合わせ、3つ目の要素の Hiroshima Business and Management School が地域への発信・創造へと繋がる大学院教育の入り口であることを示す「扉」をイメージしてデザインしています。オレンジを基調としたカラーは大鳥居の色と県木の「もみじ」の紅葉色を、イメージしています。

「HBMS」の「M」の一部に施したカラーは、人やモノを取り巻く動きがここに集まるセンターポイントであることを意味します。また、「V」の着色カラーには Vision の V をイメージワードとし、将来の構想、展望、先を見通すちからを考え養う教育の場所であることを意味します。

認証評価適合認定



HBMSは、2025年度に公益財団法人大学基準協会による経営系専門職大学院認証評価を受審し、同協会の経営系専門職大学院基準に適合していると認定されました。

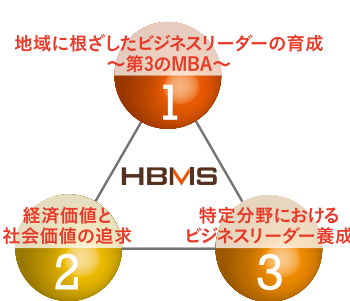
認定期間は、2026年4月1日から2031年3月31日までの5年間です。

HBMSの特徴

①地域に根ざしたビジネスリーダーの育成～第3のMBA～

地域特性を活かした科目を配置。広島県内外の企業等を事例に取り入れた授業の実施（米国型・欧州型ではないアジア型（日本型）としての第3のMBA）SMO*フロンティア研究所発による中小・中堅規模組織にも焦点を当てた教育・研究

*SMO（エスエムオー）：Small and Medium-sized Organizationsの略、中小・中堅規模組織。SMOの課題解決を目指し、研究活動から教育プログラム開発まで一貫した取り組みを進めます。課題の深掘りと解決策の体系化を行う研究活動、



研究成果を基にしたトライアル授業や公開講座による実践的な学びの提供、それらの結果を反映したSMO特化型教育プログラムの開発を進めます。

②経済価値と社会価値の追求
地域に根ざした多様性と共通価値をマネジメントする次世代型組織を経営する人材の育成＝営利、非営利両方の企業・組織の研究（ケーススタディ）

③特定分野におけるビジネスリーダー養成
一般の企業・組織に加え、特定分野（食・アグリ、ヘルスケア、観光等）のビジネスリーダーを養成



令和7年度SMOフォーラム

HBMSの概要

【大学院・研究科・専攻名称】
県立広島大学大学院経営管理研究科
ビジネス・リーダーシップ専攻
呼称：HBMS
(Hiroshima Business and Management School)
【設置時期】
2016（平成28）年4月
【課程名称】
専門職学位課程

【学位名称】
経営修士（専門職）
Master of Business Administration(MBA)
【修業年限】
2年（長期履修制度あり）
【学生定員】
35名（2027（令和9）年4月入学生以降）
25名（2026（令和8）年4月入学生まで）

【修了要件】
34単位
（教育課程における各科目群の所定単位数の修得が必要）
【入学時期】
4月（年1回）
（科目等履修生・聴講生の入学は、4月・9月の年2回）

社会人に配慮した学修環境

HBMSでは働きながら学ぶための環境が整っています



授業時間

平日18:30～21:30(2時限)
土曜日(日曜日) 9:00～19:10(6時限)



通学頻度

土曜日(日曜日)を含め週に2～3回程度の通学で、2年間でMBAの学位を取得(平日は1～2回程度の通学)



受講方法

- ・講義系科目は、ハイブリッド(対面・オンライン)で実施(オンライン受講は上限8単位)
 - ・演習系科目は、原則対面で実施
 - ・広島キャンパス(南区宇品)で開講※
- (※一部、叡啓大学(中区幟町)、福山市内で開講)



長期履修制度

標準修業年限内(2年)での修学が困難な特別な事情がある場合に限り、一定の期間(最長4年)にわたり計画的に教育課程を履修できます。



クォーター制度

1年間を4つの学期に分割したクォーター制を採用(2年間で計8クォーター)
大学が定める授業時間外期間である夏季授業期間(8～9月)・春季授業期間(2～3月)にも授業を実施。



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	ク オ ー タ ー 1	ク オ ー タ ー 2	ク オ ー タ ー 3	ク オ ー タ ー 4	ク オ ー タ ー 5	ク オ ー タ ー 6	ク オ ー タ ー 7	ク オ ー タ ー 8	ク オ ー タ ー 9	ク オ ー タ ー 10	ク オ ー タ ー 11	ク オ ー タ ー 12
2年次	ク オ ー タ ー 13	ク オ ー タ ー 14	ク オ ー タ ー 15	ク オ ー タ ー 16	ク オ ー タ ー 17	ク オ ー タ ー 18	ク オ ー タ ー 19	ク オ ー タ ー 20	ク オ ー タ ー 21	ク オ ー タ ー 22	ク オ ー タ ー 23	ク オ ー タ ー 24

専門実践教育訓練給付金

HBMSは専門実践教育訓練給付金制度の指定講座です。一定の要件を満たした場合、入学料・授業料の一部が支給されます。
※長期履修制度利用者は対象外



1科目から受講できるMBA単科受講制度(科目等履修制度)

HBMS入学前に科目を受講できる制度があります

単科受講制度(科目等履修制度)とは、HBMSの本科へ入学せずに、実際のHBMSの授業を受講し、単位を修得できる制度です。当研究科において、本科生はハイブリッド(対面・オンライン)授業を活用しつつ対面受講を基本としています。科目等履修生につきましては、講義の臨場感や受講生同士のネットワーキングを重視する観点から、対面形式のみの受講としております。

■1科目から本科生と同じ授業を受講できます

クラスでのディスカッション、グループワークなど本科生と同じ環境で受講ができます。
ご自身の学びたい科目のみを受講できます。
(※単科受講が可能な科目一覧は、募集要項をご確認ください。)

■単位が無駄になりません

修得した単位は、本科生として入学後に本学が認めれば、既修得単位として17単位まで認定されます。
これにより、入学後に修得必要単位数が減り、学修スケジュールに余裕が生まれます。

■まずは1科目から、本科へのステップに

実際の受講体験を経てから、本科へ挑戦できます。本科生のうち、約3割が科目等履修生を経て本科生として入学しています。(令和8年度実績)

■4月と9月の年2回の入学チャンスがあります

HBMS入学の検討を始めてから本科生の出願を待つことなく、学び始めることができます。

単科受講(1年)から本科に入学した例

単科受講は半年単位・年2回募集です。

4月入学: 第1・5Q、第2・6Q、夏季授業期間(4月～9月) 9月入学: 第3・7Q、第4・8Q、春季授業期間(9月～3月)

MBA単科※ (単科受講生(科目等履修生)としての入学)				MBA本科 (2年間)		MBA学位取得 (34単位)
1年目				1年目	2年目	
4月入学	9月入学	同年4月入学者の継続受講の場合、入学選抜料・入学料免除		4月本科入学	3月本科修了	
第1・5クォーター	第2・6クォーター・夏季授業	第3・7クォーター	第4・8クォーター・春季授業	1年次	2年次	
(例) 科目等履修生として4科目8単位履修した場合 (1科目/クォーターあたり)				入学後26単位以上の修得で修了可		

※複数年にわたって単科履修が可能(但し1年ごとに科目等履修生として再入学手続必要)

科目等履修生募集スケジュール

	前期募集 第1・5Q、第2・6Q、夏季授業期間(4月～9月)	後期募集 第3・7Q、第4・8Q、春季授業期間(9月～3月)
募集要項公表(HP)	1月中旬	7月上旬
出願期間	2月中旬～3月上旬	8月上旬～8月中旬
選抜結果通知	3月中旬	9月上旬
入学時期	4月上旬	9月下旬

科目等履修生に係る経費

選抜料	9,800円	
入学料	県内の方 28,200円	県外の方 39,480円
聴講料	1単位あたり14,800円 ※1単位と2単位の科目があります	

ビジネスリーダーを輩出する教育システム

HBMSのMBAプログラム(カリキュラム)の特長

1 ビジネスの基礎から学べる充実した入門科目の設置

入門科目として、多様な教養科目群・マネジメント科目群(MBA入門科目群)の配置により、経済・経営・商学系学部出身者以外でもスムーズにMBAプログラムの学修に導入できるよう、共通となる土台部分のカリキュラムが充実

2 多様な業種・業界出身者が共に学修

様々な業種・業界出身者が同一のカリキュラム・科目を履修することにより、多角的な学修を推進し、新しい社会価値・経済価値を創出するための実践力を養成

3 幅広いテーマ設定による豊富な発展科目の編成

一般的なMBAプログラムが取り扱う大企業・一般企業の経営・マネジメントに加え、全国的にもユニークな中小・中堅規模組織(SMO)の経営・マネジメントに特化した科目群、地域資源(食・アグリ、ヘルスケア、観光等)の経営・マネジメントに関する科目群も配置することにより、多様なキャリア・学修ニーズに対応



入門科目 14科目 (4単位以上)

MBA学修に必要な前提・周辺知識とMBA入門を履修

マネジメント科目群

【経営機能別入門科目】

経営戦略入門	ファイナンス入門
アカウンティング入門	ビジネスと法入門
マーケティング入門	コンプライアンス入門
人事・組織入門	

教養科目群

【社会科学系入門科目】

経済学入門	文化人類学入門
社会学入門	ICT入門
統計学入門	AI入門
経営学入門	

基礎科目 27科目 (16単位以上)

MBAのコアとなる中核科目群と関連科目群を履修

中核科目群(8単位以上)

【経営機能別中核科目】

経営戦略A/B	アカウンティング演習
マーケティングA/B	人材マネジメントA/B
マーケティング演習	ファイナンスA/B
アカウンティングA/B	ファイナンス演習

関連科目群(8単位以上)

【経営機能別中核科目に関連するテーマ別科目】

ビジネス創造・拡大と経営判断	リーダーシップ
ノンプロフィット・マネジメント	世界と向き合うビジネスマインド (スタンフォード大学連携科目)
経営思考(論理思考)	グローバルコミュニケーション (スタンフォード大学連携科目)
データアナリシス	IoT社会のビジネス創造
ファシリテーション	サステナブル社会におけるマネジメント
リーダー(アルムナイ)実践講座	戦略と社会システムデザイン
経営思考(戦略思考)	
イノベーション	

発展科目 39科目 (8単位以上)

キャリア・興味・関心に応じ3つの科目群の垣根を超え自由に履修

戦略科目群

【中核科目群・関連科目群を応用させた戦略テーマ別科目】

マネジメント・アカウンティング	企業プロジェクト演習	法務マネジメント(経営管理と経営判断)
流通マネジメント	経営戦略とリスクマネジメント	ダイバーシティマネジメント
生産管理	グローバルビジネスマネジメント	ソーシャルビジネスマネジメント
事業承継マネジメント	デザインマネジメント	環境共創マネジメント

SMO科目群

【各経営機能を中小・中堅規模組織の観点から横断的にアプローチした科目】

中小企業経営	SMOファイナンス	SMOとイノベーション
SMO事業経営演習	SMOフィールドワーク	共生社会におけるSMO
SMOマーケティング	人・企業・地域の関係性を考える	

地域資源科目群

【各経営機能を地域資源の観点から横断的にアプローチした科目】

【自然資源系】 食・アグリ	【社会資源系】 ヘルスケア	【文化資源系】 地域・観光
食農ビジネスシステムA	医療介護制度	地域ブランディング
食農ビジネスシステムB	ヘルスケアマネジメント(医療)	地域事業開発演習
農業ビジネスマネジメントと戦略	ヘルスケアマネジメント(介護)	観光ビジネスのマネジメントと戦略
食ビジネスのマネジメントと戦略	医療経営のイノベーション	観光・地域活性化演習
食農ビジネス演習	医療流通のイノベーション	観光ビジネス戦略研究
食農の流通とサプライチェーン	ヘルスケア情報のマネジメント	観光政策
		観光イノベーション

実践科目 (6単位以上)

実践的に試行・研鑽

実践科目群

【実践科目】

ビジネス創造演習
市場調査研究
経営戦略研究
ケースライティング
海外社会システム研修
国際カンファレンス
社会的インパクトの評価
ベンチャーの経営戦略
地域における合意形成

研究科長のメッセージ



経営管理研究科長

米倉 誠一郎

Seichiro Yonekura

県立広島大学HBMSは唯一無二 (Different) な存在を目指します。何故なら、違いこそ変化とイノベーションを生み出す源泉だからです。そうした多様性の高い人材育成を通じて本校が実現したことは三つあります。

- (1) まず広島県はもちろん世界に開かれた大学として、誰もが豊かなビジネスアイデアによって高い生産性をあげ、高い付加価値を実現することに寄与することです。
- (2) もちろん基礎的な経営学の知験は提供しますが、一番学んで欲しいのは想像力と創造力そして温かい人間力です。
- (3) そのために、HBMSは高い自己肯定感・自己高揚感を前提とした教育方針を貫きます。自己肯定感が高い人は実生産性で1.3倍、創造力4倍の実績を上げるからです。まさにHBMSは愉快で活気あふれる学校なのです。ワクワクして、入学を目指してください。

■専門分野

イノベーション、経営史

■主な担当科目

イノベーションの歴史

■経歴・学歴

一橋大学社会学部および経済学部卒業・一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了・ハーバード大学大学院博士Ph.D.(歴史学)・一橋大学イノベーション研究センター長・プレトリア大学ビジネススクール(GIBS) 日本研究センター所長・一橋大学名誉教授・法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授・デジタルハリウッド大学大学院特命教授・京都橘大学特任教授・ソーシャル・イノベーション・スクール学長

■主要著書

・The Japanese Iron and Steel Industry 1880-1990: Continuity and Discontinuity (Macmillan)、『経営革命の構造』(岩波新書)、『創発的破壊：未来をつくるイノベーション』(ミシマ社)、『2枚目の名刺：未来を変える働き方』(講談社)、『イノベーターたちの日本史：近代日本の創造的対応』(東洋経済新報社)、『松下幸之助：きみならできる、必ずできる』(ミネルヴァ書房) など多数

「県民全員MBA」米倉研究科長インタビュー
／YouTubeにて公開中



専攻長のメッセージ



ビジネス・リーダーシップ専攻長／教授

江戸 克栄

Katsue Edo

AIや情報処理技術の急速な発展は、社会システム及びそれを取り巻く環境を変化させています。その多様な変化の中で適応していくために、従来の「個人価値」や企業を含めた「組織価値」だけではなく、「地域や社会の共通価値」を含めた価値転換が求められています。

グローバル社会による「世界と日本」、地域活性化における「都市と地方」、マーケティングが生み出した「企業と消費者」、企業経営のための「ジェネラリストとスペシャリスト」、サステナブル社会の中で焦点が当てられた「経済価値と社会価値」。このような従来型の2つの対立軸やトレードオフ関係から出てくる択一的選択の発想から脱却し、両者が同時に成立する新しい第3の軸をイノベーションによって生み出すことが、農林水産業、製造鉱工業、サービス産業が生き残っていくための必要条件となっていきます。

HBMSはこのような時代の中で、多くの分野で第3の軸によって生み出された新しい価値を共通価値へと発展させることのできるプロフェッショナルなビジネスリーダーを育成することを目指しています。

■専門分野

マーケティング、マーケティング・リサーチ、地域ブランディング、防災マーケティング

■主な担当科目

マーケティングA、マーケティング・リサーチ

■学歴・職歴

慶應義塾大学商学部卒業 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学
文化女子大学(現文化学園大学) 専任講師、准教授を経て、教授

■主要著書

『循環するファッションー新しいデザインへの挑戦ー』文化出版局、2013年(共同監訳・監修)、『戦略的マーケティング：レビュー、体系、ケース』芙蓉書房、2008年(部分執筆)

広がる。そして、変わる。江戸専攻長／教授インタビュー
／YouTubeにて公開中



教員紹介

幅広い経験と実績を誇る教員陣

※下記は令和8年8月末時点での情報です。今後、変更の可能性あります。



教授／Takumi Adachi

安達 巧

■専門分野

起業、経営、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス

■主な担当科目

企業法務、組織マネジメントとコンプライアンス



教授／Kazushige Ichinohe

一戸 和成

■専門分野

病院経営、診療報酬政策、医療政策、医療機器産業政策

■主な担当科目

ヘルスケアマネジメント(医療)



教授／Kunio Endo

遠藤 邦夫

■専門分野

病院及び薬局経営、医薬品流通、製薬産業

■主な担当科目

医療介護のイノベーション、医療流通のイノベーション



教授／Hiroshi Kitani

木谷 宏

■専門分野

人的資源管理論、ダイバーシティ・マネジメント、経営組織

■主な担当科目

経営組織と人材マネジメント、多様性と人材マネジメント



教授／Yoshihiko Shichida

七田 良彦

■専門分野

ファイナンス、管理会計、経営学、リスク・マネジメント

■主な担当科目

アジアのSMOマネジメント、特別演習E(ファイナンス演習)



教授／Yoshinobu Soda

早田 吉伸

■専門分野

経営戦略、新事業開発、サービスデザイン、DX(デジタルトランスフォーメーション)

■主な担当科目

経営戦略



教授／Hiroshi Takehisa

武久 裕

- 専門分野
財務会計、管理会計、コーポレートファイナンス、資本市場論、ディスクロージャー制度
- 主な担当科目
アカウンティング、ファイナンス基礎



教授／Yasuo Tsuchimoto

土本 康生

- 専門分野
インターネット、情報セキュリティ、オンライン教育、ICT×ビジネス、国際化
- 主な担当科目
AI演習、特別研究B (IoT社会のビジネス創造)



教授／Mayako Tsuyuki

露木 真也子

- 専門分野
ソーシャルイノベーション、社会起業家、地域共生社会開発、社会的企業
- 主な担当科目
社会イノベーション、共生社会の理念と実例



准教授／Yoji Takahashi

高橋 陽二

- 専門分野
アントレプレナー/ベンチャー・ファイナンス、コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、アントレプレナーシップ
- 主な担当科目
ファイナンスA、スモールビジネスのファイナンス



准教授／Yoshio Nakamura

中村 嘉雄

- 専門分野
中小企業論、地域産業論、地域経済論、観光交通論
- 主な担当科目
経営戦略演習1、SME事業経営演習



特命准教授／Tatsunori Shimakawa

島川 龍載

- 専門分野
医療経営、医療情報、消費者健康情報
- 主な担当科目
ヘルスケア情報のマネジメント、ヘルスケアシステム



教授／Hiroko Hyakutake

百武 ひろ子

- 専門分野
合意形成、ソーシャルデザイン、まちづくり、感性哲学
- 主な担当科目
多様な価値とファシリテーション、デザインマネジメント



教授／Shinsaku "Sam" Mori

毛利 信作

- 専門分野
マーケティング、グローバルマネジメント、サプライチェーンマネジメント、アグリカルチャー、トレーディング
- 主な担当科目
サプライチェーンマネジメント、特別研究A (グローバルビジネスマネジメント)



教授／Narumi Yoshikawa

吉川 成美

- 専門分野
農業と持続可能な地域ビジネス、自然資源管理、CSA (Community Supported Agriculture) 食料システム構築
- 主な担当科目
持続可能な地域資源マネジメント



特任准教授／Hizuki Isogai

礒貝 日月

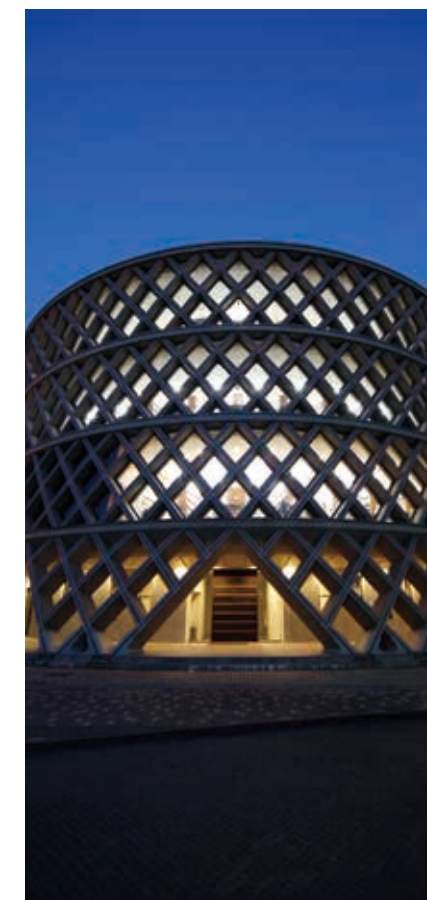
- 専門分野
出版社経営、人類学的思考とマネジメント、編集／フィールドワーク
- 主な担当科目
アジアの環境ビジネス創造、特別研究G (サービスマネジメント)



講師／Seongmi Kim

金 成美

- 専門分野
ビジネス・イノベーション、国際経営、経営史
- 主な担当科目
経営戦略、特別研究I (海外社会システム研修)



客員教授

青木 茂樹

駒澤大学経営学部教授

■専門分野／サステナブルマーケティング、地域活性化事業

青島 矢一

一橋大学経営管理研究科経営管理専攻 教授/

経営管理研究科経営管理専攻イノベーション研究センター 教授/
商学部 教授

■専門分野／イノベーションのマネジメント

生稲 史彦

中央大学大学院戦略経営研究科(ビジネススクール)教授

■専門分野／技術経営

■主な担当科目／イノベーション戦略

織山 和久

株式会社アーキネット 代表取締役

■専門分野／事業および組織のデザイン、都市や山間部におけるコモンズの分析と再構築、複雑系や循環系に対応した社会システムデザイン

■主な担当科目／戦略としての社会システムデザイン

檜野 孝人

株式会社CAP 代表取締役

事業構想大学院大学 客員教授

■専門分野／地域ブランド戦略、デジタルマーケティング、エンタテインメント

■主な担当科目／地域ブランド戦略

神田 裕二

社会保険診療報酬支払基金 前理事長

藤田医科大学大学院医学研究科客員教授

長野県立病院機構評価委員、株式会社CUC顧問

■専門分野／医療保険制度、医療政策、医療DX

楠木 建

一橋大学特任教授

■専門分野／競争戦略

古我 知史

ベンチャーキャピタリスト、ウィルキャピタルマネジメント株式会社代表取締役
京都大学成長戦略本部フェロー

■専門分野／アントレプレナーシップ、リーダーシップ、経営戦略論、組織開発、ベンチャー企業論

■主な担当科目／ベンチャーの経営戦略

小山 巖也

関東学院大学学長、材料・表面工学研究所所長、
防災・減災・復興学研究所所長、経営学部教授

■専門分野／企業論、「企業と社会」論

田中 秀和

田中電機工業株式会社代表取締役会長兼社長、
一般社団法人広島県発明協会会長

■専門分野／中小・中規模組織(SMO)の経営

為末 大

東京大学 先端科学技術研究センター

附属包摂社会共創機構 教授

■専門分野／あそび、身体知、移動知、熟達、包摂、アダプテッドスポーツ、スポーツ哲学

平尾 毅

京都橋大学経営学部 教授

■専門分野／経営史、英国労務管理・社会政策史、イノベーションの普及プロセス等の歴史研究

星野 雄介

京都産業大学経営学部准教授

■専門分野／イノベーションの普及、自然言語処理、生成AI活用

山梨 広一

イオン株式会社顧問、マッキンゼーシニアアドバイザー、
東京大学EMPエグゼクティブ・ディレクター、
東京大学総長室アドバイザー

■専門分野／経営全般、戦略全般

■主な担当科目／経営戦略演習2

湯崎 英彦

前広島県知事、広島大学客員教授、ソフトバンク社外取締役、
オックスフォード大学行政大学院国際諮問委員会委員

■専門分野／経営とリーダーシップ、行政マネジメント

PECHTER, Kenneth

法政大学イノベーション・マネジメント研究科 教授
グローバルMBAプログラム ディレクター

■専門分野／イノベーション経営・政策、クリエイティブ産業、国際事業、国際教育

非常勤講師

浦元 淳也

株式会社プランテックス

執行役員 経営戦略・マーケティング・広報

■専門分野／プロセステクノロジー、工程分析、3次元CAD、技術・技能・思考/ノウハウの試算化・運用 ■主な担当科目／生産管理

岡田 浩一

Representative, Ocada & Partners

■専門分野／マーケティング・コミュニケーションズ、ブランド、組織風土

■主な担当科目／マーケティング演習

小川 琢之

自動車部品会社役員

■専門分野／マネジメント・アカウンティング、米国会計

■主な担当科目／特別研究D(マネジメントアカウンティング)

菅 由紀子

株式会社Rejoui 代表取締役

■専門分野／データサイエンス・AI

■主な担当科目／ビジネス統計

桑原 朋子

楓総合法律事務所 弁護士

日本証券アナリスト協会 認定アナリスト(CMA)

■専門分野／会社法、事業承継・事業再生、相続、金融法学会に所属

■主な担当科目／事業承継マネジメント

小出 隆仁

医療法人真慈会 理事・事務長

■専門分野／小規模病院・クリニック経営

■主な担当科目／地域事業開発演習

河内 誉帆

外資系コンサルティングファーム・パートナー

■専門分野／戦略(事業、ポートフォリオ、M&A)、コーポレートファイナンス、資本市場・ガバナンス、企業変革

■主な担当科目／経営と戦略思考

高田 禮榮

中電技術コンサルタント株式会社 都市・建築部長

■専門分野／まちづくり、都市計画、地域振興等に関わる調査・計画

■主な担当科目／地域事業開発演習

高橋 龍二

広島県職員 西部農林水産事務所 農村振興課・主査(シニア)

■専門分野／アグリビジネス・フードシステム・起業工学・農業経営学・ネットワーク理論・地域資源活用ビジネス・地域経済循環・労働生産性分析

■主な担当科目／中四国経済

野上 智晃

三菱重工業株式会社 経営企画/上席主任

■専門分野／回転機械工学、国際ビジネス、M&A

■主な担当科目／特別研究F2(スタンフォード大学連携科目2)

桝原 茂

広島市水道事業管理者 広島市水道局長

■専門分野／地域事業開発、地方公営企業の経営戦略

■主な担当科目／地域事業開発演習

的打 英明

株式会社makotono 代表取締役

■専門分野／医療、介護経営、福祉現場の業務生産性向上、リーダーシップ

■主な担当科目／ヘルスケアマネジメント(介護・福祉)

村木 聡

三菱重工業株式会社 品質保証部門/次長

■専門分野／QMS構築(経営品質含む)、業務プロセス改善、新規事業開発と組織構築、リスクマネジメント

■主な担当科目／特別研究F1(スタンフォード大学連携科目1)

50音順

教員紹介はこちら



在 学 生 の ス ケ ジ ュ ー ル

広がる。そして、変わる。
在学生インタビュー

YouTubeにて公開中

小河 鈴奈さん

HBMS 1年生(11期生)
ヤマネホールディングス株式会社 経営支援室 経営支援課 経営支援係



現在、経営支援室に所属し、グループ全体の会議体運用や事業計画、年度予算の作成などを行っています。経営に関する知識を身に付け、グループの課題を解決するヒントを学ぶためHBMSに入学しました。

大学院といえば「知識を詰め込む場所」というイメージでしたが、授業では自らの考えを言葉にして伝える場面が多く、私は少し苦戦しています。しかし、ビジネスの場と違い、「思ったことは積極的に発言しよう」というオープンな空気感に助けられ、少しずつ鍛えられている実感があります。

先生方との距離が近く、密にコミュニケーションが取れる点もHBMSの魅力です。授業中はいつ指名されても応えられるよう、考えを整理しながら集中して臨めています。質問に対しても実務に即した具体的なアドバイスをくださるため、すぐに業務へ活かすことができています。

学び始めて日は浅いですが、最近は仕事中に授業の内容が思い浮かぶ瞬間が増えてきました。「あのフレームワークを当てはめれば解決の糸口が見えるかも」というイメージが湧く段階なので、今後は具体的なアプローチまで落とし込めるよう学びをさらに深めていきたいです。

不安だった仕事と学業の両立も、定時退社や周囲の理解により学修時間を確保できています。通勤や家事の合間にアイデアを練るなど、効率的な時間の使い方もできるようになってきました。

ここでの学びを日々の実務へ還元し、グループ全体の経営支援に活かすとともに、将来的には組織が円滑に機能するための仕組みづくりに貢献していきたいと考えています。

【年間(4月上旬～3月)の小河さんの時間割】

※【1・2限】9:00～12:10 【3・4限】13:00～16:10 【5・6限】16:20～19:30 【6・7限】18:30～21:30

1Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	(隔週)経営戦略、マーケティングA
							3・4限	経営組織と人材マネジメント
	6・7限					ファイナンス基礎	5・6限	

2Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	経営戦略演習1
							3・4限	アカウンティング
	6・7限				マーケティングB	マーケティング演習	5・6限	

3Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	
							3・4限	
	6・7限		(隔週)ファイナンスA ファイナンスB		サプライチェーンマネジメント		5・6限	

4Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	プロジェクト研究1
							3・4限	
	6・7限				(隔週)マーケティング・リサーチ マーケティング・リサーチ演習	経営と戦略思考	5・6限	

授業のある
平日のスケジュール

5:30

起床

出勤までの時間に課題に取り組む朝型人間です。

7:30

出勤

バスとJRを乗り継いで30分かけて職場へ。

8:30

始業

業務はしっかり集中して取り組んでいます。

17:00

終業

定時は17:30ですが授業の日は30分早く帰宅します。

18:30

授業

21:30

終了

グループミーティングがない時はすぐに帰宅します。

22:00

帰宅

基本的に課題は授業のない日にすることが多いです。

23:30

就寝

課題が多い日でも24時までには就寝するよう心がけています。

中川 莉沙さん

HBMS 2年生(10期生)
マツダ株式会社 マツダ病院 臨床工学士



私は臨床工学士として、医療機器の管理にとどまらず、患者の安全や災害時にも機能する病院体制づくりなど、「医療を支える仕組み」そのものに関心を持って仕事に取り組んでいます。

HBMSでの学びを通じて、医療という専門領域を「経営」という新たな視点から多角的に捉えられるようになりました。現場の問題を、マーケティングや経営戦略、人材マネジメントなどを通して、「なぜ問題が起きるのか」「組織や仕組みに原因はないか」と構造的に考える思考が変わったと実感しています。特に印象的だったのは、医療の課題を行政や民間企業も巻き込み、「社会全体の仕組み」として解決していく考え方です。医療の専門知識に加えて組織マネジメントや社会システムの視点を学べたことで、視野が大きく広がりました。

1年目は「学んだことをすぐ実践する」ことを意識しました。授業をきっかけに関連する資格を2つ取得し、日々の業務でも論文執筆に取り組むなど、ここで得た知識を仕事の成果や専門性の向上につなげています。

HBMSの授業はグループワークが多いため、仲間とともに課題を乗り越える強い一体感があります。年代やバックグラウンドは違えど、学生時代の友人のように本音で切磋琢磨できる10期生とは、生涯にわたる関係が続くと確信しています。

将来的には、地域医療や災害時医療、医療物流における多職種・多機関の連携体制を築き、広島の医療・福祉を持続可能にするリーダーへと成長したいです。生まれ育った広島へ、ここでの学びをしっかりと還元していきたいと思います。

【1年次・2年次の中川さんの時間割】1年次:1～4クォーター 2年次:5～8クォーター

※【1・2限】9:00～12:10 【3・4限】13:00～16:10 【5・6限】16:20～19:30 【6・7限】18:30～21:30

1Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	(隔週)経営戦略、マーケティングA
							3・4限	経営組織と人材マネジメント
	6・7限					ファイナンス基礎	5・6限	

2Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	アカウンティング
							3・4限	経営と戦略思考
	6・7限				(隔週)ファイナンス基礎(オンライン)、 マーケティングB(オンライン)		5・6限	

3Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	特別研究F1(スタンフォード大学連携科目)
							3・4限	多様性と人材マネジメント
	6・7限		AI演習			戦略としての社会システムデザイン	5・6限	

4Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	プロジェクト研究1
							3・4限	
	6・7限				マーケティング・リサーチ(オンライン)		5・6限	

5Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	
							3・4限	社会イノベーション
	6・7限				(隔週)ヘルスケア情報のマネジメント(オンライン)、ヘルスケアシステム(オンライン)		5・6限	プロジェクト研究2

6Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	ヘルスケアマネジメント(医療)
							3・4限	
	6・7限				共生社会の理念と事例(オンライン)		5・6限	プロジェクト研究2

7Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	
							3・4限	
	6・7限						5・6限	プロジェクト研究2

8Q	時限	月	火	水	木	金	時限	土曜日
							1・2限	
							3・4限	
	6・7限		社会インパクトの評価(オンライン)				5・6限	プロジェクト研究2

授業のある
平日のスケジュール

6:00

起床

朝食をとって身支度をします。

7:50

出社

電車に乗って会社へ向かいます。

8:00

始業

17:00

終業

職場から用品のHBMSへ向かいます。

18:00

夕食

授業が始まるまでに軽く食事を済ませます。

18:30

授業

21:30

終了

授業が終わったらすぐに帰宅します。

22:00

帰宅

勉強は“朝派”なので早めに就寝の準備をします。

22:30

就寝

理想は22時就寝!グループワークのある日は24時頃になることも。

修了生インタビュー

※所属先については、令和8年8月末時点での情報です。

修了生インタビュー

過去の
バックナンバーは
こちら



松本 博治さん HBMS 6 期生 株式会社ダイセル マテリアルSBU テクニカルソリューションセンター 所長

突破のカギは方程式ではなくアスピレーション



社内の長期ビジョン策定プロジェクトに参画した際、事業の変革や組織のイノベーションに関する知識がないことを痛感。知識だけでなく、実践を通して学んでみたいと考え、HBMSの門を叩きました。入学当初は、成功や失敗といった多くの事例を学び、共通要素を理解すれば成功の黄金律が浮き彫りになると考えていました。しかし、2年間の結論は「そんなものはない!」ということ。成功企業の中には、従来の常識では非効率とも見える手段を選択し、イノベーションのジレンマを華麗に、泥臭く突破していました。成功の方程式はなく、さらに一見すると非効率なやり方であればあるほど、その一步を踏み出すには勇気が必要です。この壁を超えるには、ベースとなる知識や理論はもちろんですが、強烈なアスピレーションが絶対条件です。業種も立場も年齢も違う同期とともに、それぞれが抱えるリアルすぎる課題、ジレンマ、そして夢を語り、共感しあうことで私の世界は一気に広がりました。世の中には無数の課題が存在していますが、その見え方、捉え方は3年前と大きく変わりました。人生に大きなインパクトを与えてくれるHBMSでの学びを通して、「誰かがやる。ではなく、自分たちがやる」というアスピレーションを持って、ともに新しい未来を描いてみませんか。

結城 奈津子さん HBMS 8 期生 マツダ株式会社 MDI&IT 本部 グローバル IT 業務部 アシスタントマネージャー

思考の広がりにつながる対面授業での学び

HBMSの魅力は、素晴らしい仲間との出会い、そして対面授業にあると感じています。画面から流れる映像や音声だけでは伝わらない「その場の空気感」も貴重な情報のひとつです。異なるバックグラウンドを持つ仲間の振る舞いや価値観に触れることで、自分の思考も大きく広がっていききました。私自身、入学当初は授業・仕事・家庭の両立に大変苦労しました。しかし、「ここで学ぶことは、自分だけでなく家族にとっても成長の機会になる」と考え方を切り替え、試行錯誤することで何とか乗り越えることができました。私は、家族と一緒にHBMSを卒業したのだと思っています。これからHBMSに入学される皆さんに伝えたいのは、「一人で頑張ろうとしないでほしい」ということです。いろんな人の意見を聞き、助けを借りてください。人を巻き込む力は、ビジネスでも大きな武器になります。今では、上司や同僚とのコミュニケーションの中で、情報を体系的に整理し、自分の考えを的確に伝えられるようになったという実感があります。今後はHBMSで学んだ実践的な知識やスキルを活かし、社内の課題解決のみならず、地域社会の課題解決にも貢献したいと考えています。



小林 靖孟さん HBMS 5 期生 広島市立北部医療センター安佐市民病院 救急科 部長 (広島大学 救急集中治療医学教室 所属)、日本救急医学会 救急科専門医

新たな視点を手に入れて理解の幅を広げる



救急科の専門医として経験を積むなかで、指導的立場となりマネジメントや部門間連携の面で力不足を感じていました。私自身、専門技能を社会の価値に変換したいという思いがあったことから、医学博士や公衆衛生学、病院経営の修士ではなく、ビジネス的知見を広げるためMBAを目指しました。知識やコミュニティを広げるため、アカウンティング、ファイナンスなど医療とは関わりのない科目を積極的に履修するよう心掛けました。その副次的な効果として、本来の専門である医学・自然科学の視点に加えて、経営・社会科学の視点を得ることができ、2つの視点で物事をより深く理解できるようになったと感じています。ともに助け合い、悩み、刺激あった同期の絆は固く、未だにみんなで集まってアイデア出しをしたり、ディスカッションをしたり、まるで学生の延長のようです。2025年からはHBMSのSMOフロンティア研究所で客員研究員としても活動しています。今後は救急医としての専門性も磨きつつ、医療や社会の課題解決に貢献できる人材になりたいと考えています。

登 景子さん HBMS 4 期生 株式会社ケン・リース FROM EATS 担当

学びやスキルを活かし 地域経済の循環を形に



HBMSのゼミ仲間が研究の一環として取り組むなかで発案して立ち上げた、FROM EATSという事業に修了後からチームメンバーとして参画しています。FROM EATSは、「食でまちを笑顔に!」をスローガンに掲げた、つくる人(生産者・飲食店)と、わたしたち食べる人(消費者)との繋がりをより豊かにすることを目指したプロジェクトです。地元野菜の定期便を軸にしたサービスなど、地元の食を再発見し愛着を深めるための機会創出に取り組んでいます。ブランドをつくりあげていく段階なので、まさにマーケティングの授業で学んだことを実践しながら、改めて学び直しをしています。在学中は、異業種の同期たちから多くの刺激を受け、講義やゼミでの学びを通じて、今いる場所で自分が目指したいものが明確になりました。「心が豊かになる地域経済の循環をつくりたい」という想いを共有する仲間に出会って、FROM EATSの事業に参画できたのも全てHBMSがあったからこそ。授業時間以外にも家で取り組む時間も多かったのも、サポートしてくれた家族にも感謝しています。

國清 泰臣さん HBMS 7 期生 株式会社広島ホームテレビ 報道制作局 報道部

～想いをつなげ心を動かす～ 地域に新たな価値を創造したい

営業で3年、スポーツの現場で9年と放送業界のど真ん中にいた自分が、新規事業担当部署への異動を機に、ビジネスやマーケティングを学ぶ必要性を感じてHBMSに入学しました。何が分からないのかが分からない状態から、課題に対して解決のヒントを手にするまでの時間を大幅に短縮できるまでに成長することができました。修了後、新規事業プロジェクトの一環として広島駅ビルminamoalに広島・瀬戸内・世界の未来をつなぐ共創拠点「miobyDoTS」をオープンし、全く知識も経験もない中で飲食部門の立ち上げに携わりました。ゼロから事業を創り組織を構築していくことの難しさ、また何よりそれらを維持継続していくことの難しさを痛感しました。そのような中で自分の支えとなったのが、HBMSでのつながりです。同期の皆さんはもちろんのこと、「期」を越えた同窓の皆さんや諸先生方にも様々な場面で、あらゆるサポートをいただくことができました。何より利害関係がない中での「つながり」はこれ以上ない武器であり、自分を自分らしく保つためのかけがえのないものです。振り返ってみるとあつという間の2年間で自身にとって新たな視野を手にする期間となったことは間違いありません。2026年2月からは新規事業担当部署を離れ、メディア業界の本流でもある報道部へ異動となり、日々様々な「違和感」を感じながら業務と向き合っています。こうした感覚もHBMSでの学びがなければ感じなかったかもしれません。日々感じている「違和感」を新たな価値創造へ転換させたいと思っています。



江藤 良輔さん HBMS 9 期生 広川株式会社 経営企画部 イノベーション推進課 課長

ここでの学びとネットワークが新規事業構築の原動力に



新規事業の企画・運営に携わる上で、経営やビジネスに関する知識を体系的に学びたいと考え、弊社代表も7期生として学んだHBMSに魅力を感じ入学しました。修了した今いちばん感じるのは、ものの見方が大きく変わったことです。新たなトレンドを目にしたとき、世の中の動向や流行の背景にある外部環境について考えたり、消費者としてではなく「どうやってこのサービスを広げているのか」「どういうコンセプトでマーケティングしているのか」という提供者側の視点で考える習慣が身に付きました。そこから得たヒントを事業のブラッシュアップやスキーム構築に落とし込むことで、新たな発想が生まれるという好循環につながっています。経営管理研究科での学びは、必ずしも経営者になるためだけのものではありません。一人ひとりが自身のキャリアに直結する知識と人脈を築ける2年間は、本当に有意義な時間です。不確実性の高い新規事業の戦略立案から実行までを行っている中で、HBMSで得た学びとネットワークが原動力となり、私自身の大きな支えとなっていることを日々実感しています。



HBMS COMMUNITY

(県立広島大学MBA同窓会)



HBMS COMMUNITY 会長
谷口 隆昭さん

HBMS 8期生
株式会社アンデルセンサービス
購買部 次長

HBMS COMMUNITYは、HBMSを修了した後もお互い学び続けることができる場として、また、修了生、在学学生、教職員などを継続的に結びつけるコミュニティを創造することを目的として設立されました。現在の会員数は、約300名を数え、活動の幅を広げています。



会報誌

皆さま、こんにちは。

このたび、HBMSコミュニティの会長を拝命いたしました谷口隆昭です。

HBMSは、基礎的なビジネスマネジメント力に加え、変化の激しい現代に対応する先端的なマネジメントを学ぶことができ、実践に強いプロフェッショナル人材へと導くビジネススクールです。ここでの2年間は、様々な職種や年齢も異なる仲間たちと同じ志を持って切磋琢磨することで、新たな気づきとともに一人ひとりの可能性が大きく広がる貴重な時間でした。

HBMSコミュニティは、在学学生・修了生とともに教職員も参加するコミュニティで、お互いの挑戦を励まし合い、高め合っていける場です。HBMSも10周年を迎え多くの修了生が活躍しています。今年はこのネットワークを更に強くする節目の年と考えています。コミュニティのメンバーが中心となり所属する組織や地域、広島から世界へと変化を起こしていける起点となっていきましょう。

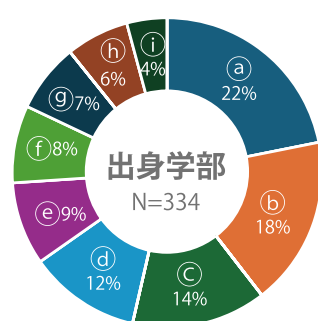
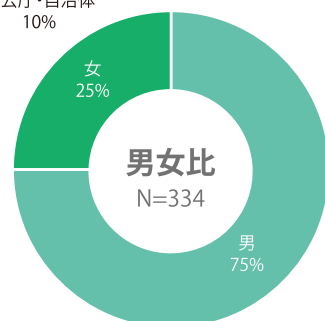
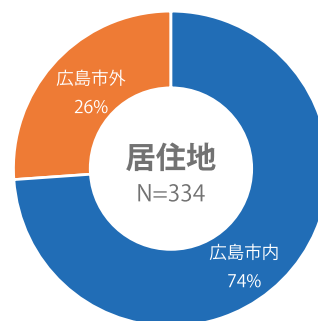
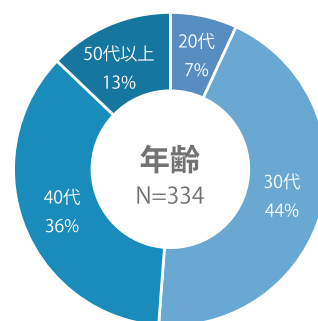
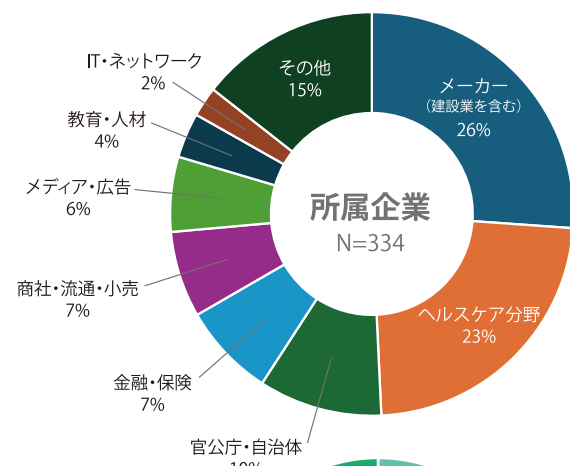


コミュニティ主催 新入生ウエルカムパーティ



コミュニティ定時総会

HBMS DATA 〈在学学生・修了生のプロフィール〉 HBMSでは様々な業種、年齢の学生が学んでいます。



- ③商・経営・経済学系
- ⑥理工学系 (理学、理工学、工学、機械工学、電気工学、建築など)
- ⑦医療・保健・福祉系 (医学、看護、薬、福祉など)
- ④法・政治・社会学系
- ⑤大卒以外 (高卒、専門、短大)
- ①人文学系 (文学、歴史学、外国語など)
- ⑨その他 (芸術、国際、家政、教育、観光など)
- ⑥総合・学際系 (総合科学、情報社会学、環境など)
- ①農学系 (農学、生物資源、食環境など)

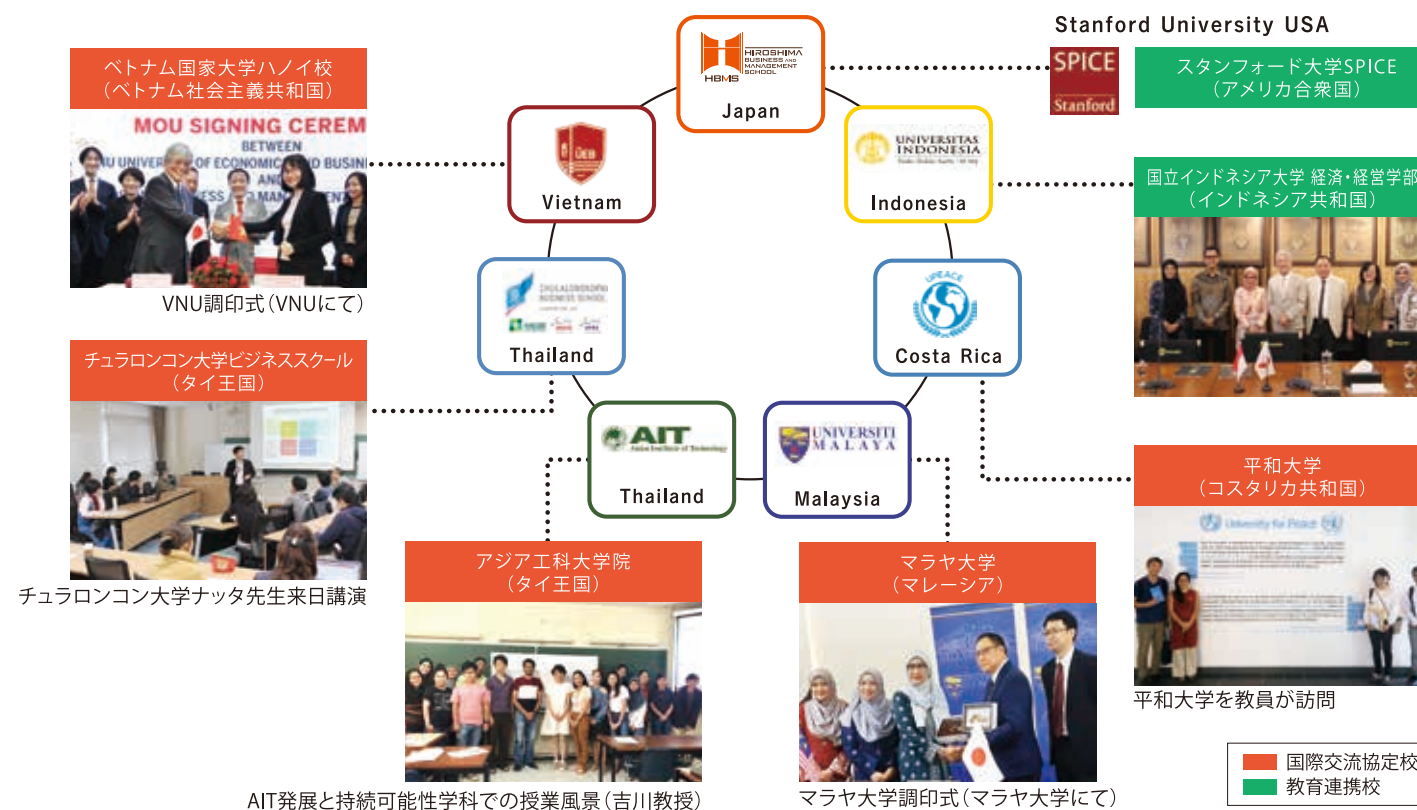
SMO※経営者 33名
※Small and Medium-sized Organizations

上記の情報は入学時のものです

国際交流

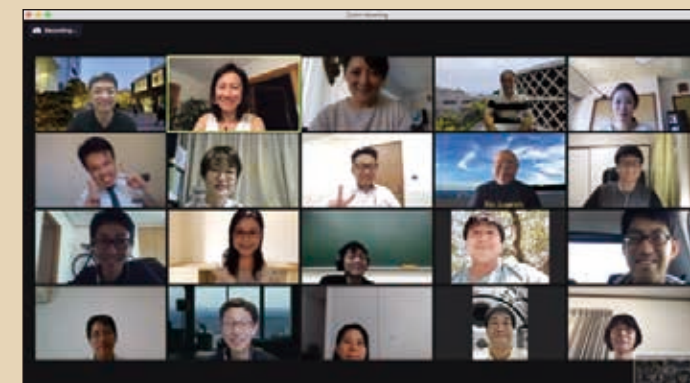
HBMSでは、国際的な視野を持って活躍できる人材の育成を図るとともに、MBA教育プログラムの卓越化に取り組むため、海外先進大学との連携強化を図っています。

HBMSの国際交流協定校・教育連携校



スタンフォード大学連携科目

スタンフォード大学は、世界にイノベーションを送り出すシリコンバレーにとっては欠かすことのできない教育機関です。そのスタンフォード大学とHBMSが独自のWEBオンライン授業を共同開発しました。起業家や専門家のゲストスピーカーの講義を通して、イノベーションやアントレプレナーシップについて学びます。



令和7年度アジア大学連携講座



令和7年度「海外社会システム研修」マレーシア現地研修

HBMSに学生を派遣する企業の声

HBMSでは、企業、自治体、その他組織から派遣される社会人学生を広く受け入れています。2年間HBMSで学んだ「人材」は、組織にとって貴重な「人財」となります。スキル人材の育成・訓練で成果を上げるためには、「知識」「技能」「知恵」の三要素をすべて訓練する必要があります。HBMSに社員・職員を派遣することで、ビジネス・リーダーを育成することができます。

HBMSは地域活性化のプラットフォーム株式会社ひろぎんホールディングス 代表取締役会長 部谷 俊雄さん



当社グループの広島銀行では、HBMSが開設された2016年から、隔年で行員を派遣しています。派遣の目的は、将来の幹部候補生を養成するにあたり、経営のベースとなる戦略、あるいは論理的思考を身に着けることです。海外や国内のMBAもありますが、HBMSは地域に根差しているということが、地元広島の地方銀行にとって魅力的です。現在在籍している2名を含めた12名を派遣したのですが、修了した9名は、地方創生に関わる業務、企業の事業性評価に関わる業務、あるいは個人の方々の相続のサポートをする業務に携わっており、地域のお客様のことを思い、しっかりと対応をしてくれています。今後、HBMSには、広島各企業で働いている方、経営者の方々など、多様な学生が多く学ぶことにより、そこでネットワークを作り、広島が活性化するような事業、あるいは新しい試みも含めて積極的にチャレンジしていただけるようなプラットフォームを作ってほしいと思っています。HBMSで学んだ人材が我々グループを引っ張ってもらおうと同時に、地域を活性化してくれることを望んでいます。

HBMSで経営の視座・視点を持つ社員にオタフクソース株式会社 代表取締役社長 佐々木 孝富さん



オタフクソースでは、HBMSが開設された2016年から現在まで8名の社員を派遣しています。派遣の目的は、中期の方針や計画の策定、各事業や部門別の戦略策定や推進、新事業の開発をする人材が必要だからです。私も1年間ビジネススクールに通った経験がありますが、学び舎の人達は高い志を持って真剣に学んでおり、かけがえのない仲間にもなります。恩師の方々とも繋がる事が出来、全てが貴重な縁となり今も交流が続いています。同じようなことがHBMSにおいてもあると感じています。HBMSで学んだ社員は、視座が上がっており、それによって視野が広がり、そして違った視点を持つようになっています。新しい発想力を持って、お客様を始め社内外の方々に喜んでいただけるようなことを、彼ら自身が導き出して提案してくれることを期待しています。広島地場ならではの繋がりは大事ですし、体系的な学びが出来る事は非常に貴重であるため、弊社としては定期的にHBMSへ社員を派遣したいと考えています。

HBMSを通じて、未来を切り拓く人材づくりをヒロテック株式会社 ヒロテック 代表取締役社長 鵜野 徳文さん



ヒロテックは、HBMSの前身であった県立広島大学大学院社会人課程の創立以来、毎年1名の企業派遣を15年以上続けてきました。すでに派遣による大学院時代の卒業生は10名、HBMSになってからは4名の卒業生を輩出しています。このプログラムは、会社で実務経験を積んできた優秀な人材に対し、自社を客観的に研究し、社会環境を読んで新たな機会を深く考える機会を提供してきました。経営視点を醸成する高度な人材育成の場となっています。初期に派遣した卒業生は現在取締役に就任し、その後に続く卒業生たちの多くも海外拠点への赴任やプロジェクト、新規ビジネスなど、戦略的にも重要な分野で幹部社員として活躍しています。私たちが属する自動車産業は現在急速に変化しており、電動化、自動運転、環境への配慮など、新たな技術とビジョンが世界で求められています。このような環境で、当社も広島から世界へ発信する企業として、常に変化に適応し革新的なアイデアを追求しています。HBMSへの派遣を通じて、私たちの未来を切り拓く人材を育てています。

HBMSを通じて次世代リーダーへ贈る、学びの挑戦田中電機工業株式会社 代表取締役会長兼社長 田中 秀和さん



当社がHBMSへの派遣を開始したのは3年前のことです。広島商工会議所にて、県立広島大学の江戸教授よりMBAプログラムのお話を伺ったのがきっかけでした。それまでMBAは海外の一流大学でしか取得できないものという固定観念がありましたが、県内で高度な経営学を修められる環境があることに感銘いたしました。「次世代を担う社員にこそ、こうしたチャンスを与えるべきだ」という思いから、以後毎年1名の派遣を継続しており、うち1名は今年見事に修了を果たしました。派遣された社員は、実務だけでは得られない体系的な知識を学び、経営的な視点を養うことで、社内でも明らかに発言や行動の変化が見られます。その成長を目の当たりにし、改めてビジネススクールでの学びが会社にとって不可欠であると確信しました。今後も、毎年1名ずつ新たな挑戦を続け、彼らの学びを起点とした組織の活性化とさらなる飛躍を目指していきたいと考えています。

「企業・自治体派遣」について

企業・自治体派遣（※）にて、社員・職員の受験を希望される派遣企業・自治体のご担当者様は、令和8年11月20日（金）～12月10日（木）の間にHBMSウェブサイトの「入試情報」のフォームにて事前申請を行ってください。フォームは、令和8年11月20日（金）に公開します。なお、新規派遣を希望される場合は、HBMSマネジメント課（082-251-9726）までお問合せ下さい。

※「企業・自治体派遣」には、社団法人・財団法人・NPO法人等の各法人・法人団体等を含みます。

企業・自治体派遣での出願は下記の要件を全て満たす必要があります

- ① 企業・自治体に派遣制度があること。派遣制度がない場合は派遣制度を作る、又は作る予定があること。
- ② 被派遣者の選定において選抜基準があること。
- ③ 企業・自治体は、派遣した学生が学業に専念できるよう支援すると共に、必要に応じて業務の調整を行うなどの配慮をすること。

※以下の情報は一部変更となる可能性があります。

入学試験の概要

募集人員	選抜区分	選抜方法	
		一次選抜	二次選抜
35名	オープン入試A、オープン入試B 企業・自治体派遣	書類審査	選抜課題、口述試験

主要日程

選抜課題 公表	令和8年11月20日（金）頃
企業・自治体派遣 事前申請※1	令和8年11月20日（金）～12月10日（木）
出願資格審査※2	令和8年11月27日（金）～12月10日（木）
出願期間	令和9年1月5日（火）～1月18日（月）
一次選抜結果通知	令和9年1月29日（金）頃
二次選抜試験日	令和9年2月6日（土）・2月7日（日）
合格発表	令和9年2月15日（月）
入学手続	令和9年2月16日（火）～2月26日（金）

※1 企業・自治体派遣にて社員・職員の受験を希望される派遣企業・自治体のご担当者様は、事前の申請が必要となります。詳細は募集要項をご確認ください。

※2 大学の学部等を卒業していない方は、出願前に別途出願資格審査が必要です。詳細は募集要項の出願資格をご確認ください。

過去3年間の入試結果（オープン入試、企業・自治体派遣共通）

年度	入学定員	志願者数	志願倍率	一次選抜 合格者数	二次選抜				入学者数
					受験者数	受験倍率	合格者数	合格倍率	
令和8年度	25	61	2.4	51	51	2.0	33	1.8	33
令和7年度	25	67	2.7	59	59	2.4	34	2.0	34
令和6年度	25	57	2.3	52	52	2.1	31	1.8	31

学費、補助金・給付金制度のご案内

社会人の学びをサポートする補助金・給付金制度が充実しています。

[入学金] 県内の方:282,000円 県外の方:394,800円 **[授業料]** 年 額 535,800円 (半期ごとに267,900円納入)

(注) 1 現行の額です。この額は改定されることがあります。
2 在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新しい額が適用される予定です。

専門実践教育訓練給付金(厚生労働省 個人向け)

HBMSは専門実践教育訓練制度の指定講座のため、2年間でHBMSを修了すると支払った費用の最大80%が支給されます。(長期履修制度利用者は対象外) 受給資格等については、住所地を管轄するハローワークにご確認ください。



広島県リスキリング人材育成補助金(広島県 企業向け)

県内に本社又は本店を置く企業等が、雇用期間の定めのない従業員をリスキリングのために国内の大学、大学院及び研修機関等へ派遣し、経営戦略の実現に必要な知識・技術等を習得する事業に要する経費の一部を補助します。(1社当たりの補助上限額は200万円)

